

臨床栄養師特別継続研修会

高齢者における摂食関連機能のアセスメント手法に関する研修会 —栄養専門職がみる摂食機能低下の徴候と症状— (ワークショップ)

社団法人 日本健康・栄養システム学会

高齢者の低栄養状態に大きく影響する要因として、認知症や嚥下障害などを起因として起きる摂食に関わる機能低下があげられます。介護保険制度においては、高齢者の低栄養状態の予防・改善のための栄養ケア・マネジメントの評価として「栄養マネジメント加算」とともに「経口維持加算」等が設けられて、この問題への積極的な対応が栄養専門職に求められています。しかしながら、摂食機能の低下の徴候や症状は栄養専門職の間で標準化されておらず、栄養判定の根拠が曖昧なため、栄養ケアプランの中に経口維持のための具体的な方策を記述するシステムが一般化していないのが現状です。この課題を克服するためには、栄養専門職は、摂食機能の低下に関する標準的な徴候や症状を把握し、摂食関連機能のアセスメントする技術を高めることが必要です。そこで、静岡県立大学客員教授として来日されるRiva Touger-Decker 博士に協力を要請し、摂食機能低下の徴候と症状に関する演習を、臨床栄養師継続研修として、実践的ワークショップ形式で開催することに致しました。演習の中では、実際に、介護老人保健/福祉施設に赴き、食事介護をしながら利用者の問題を把握する経験もしていただきます。臨床栄養師ならびに高齢者栄養ケアの専門家の皆様には是非ご参加頂けますようお願い致します。

日時：平成21年8月8日(土曜日) 9:30～17:00

場所：静岡県立大学はばたき棟第2会議室、静岡市内介護老人保健/福祉施設
〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 (地図は下記を参照)
<http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/outline/access/index.html>

費用：会員 3,000円 (教材費込)
一般(非会員) 5,000円 (教材費込)

定員 20名

臨床栄養師継続研修相当：6時間

世話人 合田敏尚、須永美幸(継続研修担当)

演習担当：

Riva Touger-Decker 博士(ニュージャージー医科歯科大学教授、静岡県立大学客員教授)

Diane Rigassio Radler 博士(ニュージャージー医科歯科大学准教授)

共催 静岡県立大学グローバルCOEプログラム
「健康長寿科学教育研究の戦略的新展開」

申込先： 静岡県立大学・食品栄養科学部(栄養生理学研究室) 合田 敏尚
gouda@u-shizuoka-ken.ac.jp Fax: 054-264-5565